

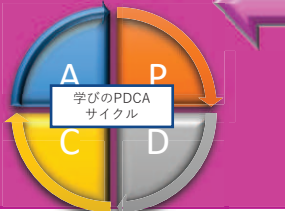
【研究開発課題】

課題を主体的に発見・思考・解決し、新たな価値を創造できる人材育成プログラムの研究開発

卒業後 ↑ 高等教育等での学修状況、卒業後の進路状況（就職職種、エリア、大学院進学等）を調査し、生徒とのエンゲージメントを高める  
修了生をロールモデルとしたノウハウの蓄積によってSSH事業を持続可能なプログラムとして昇華させる

卒業後 ↑ 高等教育での研究を見据えた探究経験を持ち、データ・グローバル社会において自らのキャリア形成できる科学技術人材

生徒が主体的に学びのPDCAサイクルを回すプログラム



文理教科の横断・有機的連携

【評価指標】

研究論文・発表のパフォーマンス評価、英語4技能スコア伸長、汎用的能力アセスメントテスト伸長、生徒自己評価、入学時・中間・卒業時アンケート、正課授業成績、観点別評価、授業評価等

課外講座・SSH部活動 学びの深化 ↑	文理教科の横断・有機的連携			
	探究教育	データサイエンス教育	グローバル教育	キャリア教育
<b>3年：ss探究専門ゼミⅡ</b> 2年次からの研究を更に高め、研究論文制作を作成し、研究成果を校外に向けて発信する。	・個人研究 ・研究発表 ・論文制作	・研究分野に応じた統計分析演習 ・プレゼンテーション演習	・アカデミックライティング ・パブリックスピーキング ・オンライン英会話	・自己評価 ・アセスメント結果フィードバック ・キャリアパスの作成
<b>2年：ss探究専門ゼミⅠ</b> 研究分野で選択する少人数のゼミを実施。3年次の研究発表を目指して個人研究に取り組む。	・個人研究 ・中間発表	・研究分野に応じた統計分析演習 ・プレゼンテーション手法	・アカデミックライティング ・パブリックスピーキング ・海外研修 ・オンライン英会話	・企業分析、職業理解講座 ・アセスメント結果フィードバック
<b>1年：ss探究基礎ゼミ</b> 普通科特進コース全員を対象とした研究基礎力を磨くプログラム。校外のリソースを活用して科学技術に触れる機会を設ける。	・ミニグループ探究 ・研究基礎演習 ・思考力育成プログラム	・ICT基礎 ・プログラミング ・基礎統計学 ・データ分析	・サイエンスイングリッシュキャンプ ・プレ留学体験 ・オンライン英会話	・連携先による講演、訪問 ・卒業生、社会人交流 ・自己分析講座 ・アセスメント結果フィードバック

SS探究と他教科、講座、部活動等が有機的連携・横断した教育と地域のリソースを活用した課題発見・解決を行うプログラムにより、生徒が主体的に「学びのPDCAサイクル」を回すこと目指す

【研究開発のゴール】 IR (Institutional Research) によるSSH事業の効果測定及び評価指標の検証「IRによるカリキュラム・マネジメント」

- ・探究授業におけるパフォーマンス評価、英語4技能及び思考力・経験・態度等のアセスメントテスト、生徒自己評価、アンケートなど多面的な評価指標を検証する。
- ・キャリアサポートセンターや校友会、企業と連携し、生徒の追跡調査を行い生徒のキャリア達成、地域企業への人材輩出などを明らかにする。
- ・実施状況や学習結果はSSH運営指導委員会で議題にし、学識経験者、高等学校、教育委員会、大学、企業らの参画者から助言・指導をいただき、研修などに反映する。
- ・IR室と連携し、本校のスクールミッション、3ポリシーの達成についてもアセスメントを行い、外部評価を受け、学校及び法人側の評価としても活用する。
- ・高校版IR活動の試金石として、IRによる計画的かつ組織的に編成・実施・評価を行い、教育の質を向上を目指すカリキュラム・マネジメントを目指し、成果は他校、教育委員会等へも共有する。